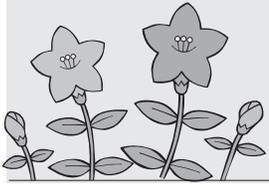


訪問看護ステーション 連絡協議会だより

第14号



発行年月 2007年9月
 発行所 岡山県訪問看護ステーション
 連絡協議会
 〒703-8251 岡山市竹田155-7
 岡山訪問看護ステーション看護協会2階
 TEL086-901-1375・FAX086-901-1376
<http://okayama.houmonkango.net/>
 E-mail okayama@houmonkango.net
 発行責任者 若林 敏子

顧問就任挨拶

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会

顧問 草野 功

功

6月9日に行われた総会において顧問就任の要請を受け、承諾いたしました。顧みますと、平成5年、訪問看護制度が発足して、全国的にも早い時期に岡山市訪問看護ステーション連絡協議会が発足し、副会長に指名され、今日に至っております。

当時、私は岡山市医師会長として、地域ケアシステムの構築を医師会主導で目指してまいりました。そのためには、医療・福祉・行政その他の関連機関が連携し、在宅ケアを中心としたシステムを構築していかなければ高齢化社会に対応できないとの考えもありました。その時期に、訪問看護ステーションは看護師の独立事業として初めて認められたシステムでありました。まず、看護協会が訪問看護ステーションを持ち、看護協会が中心になって、組織化する必要性を当時の看護協会会長にお話し、設立には医師会が側面的に協力、支援を行ってまいりました。

その後、岡山市訪問看護ステーション連絡協議会は発展的に岡山県訪問看護ステーション連絡協議会に組織の拡大、充実が行われ、引き続き、副会長として協議会の発展に微力ながら協力させていただきました。

その間、社会や医療を取り巻く環境は変化し、介護病棟の削減、在宅医療重視の政策が一層進められる状況の

新設のステーション紹介



中で医療ニーズの高い患者の看護や介護に訪問看護ステーションの必要性は高まっています。高度在宅医療には、看護技術の向上が必要であり、今後も一層の研鑽が必要とされます。皆様方の努力に期待するとともに岡山県訪問看護ステーション連絡協議会の一層の飛躍を祈念し、ご挨拶いたします。

・訪問看護ステーションあさひ
 頼則 幸穂

訪問看護ステーションあさひは、平成18年12月に、岡山市内から北へ25kmほどの山と田に囲まれた緑いっぱい赤磐市坂部に開設しました。15年4月より、医院からの訪問をしてまいりました。それを基盤とし今回の開設となりました。スタッフも専任1名、兼任3名と小さな規模でのスタートであります。利用者の方々に住み慣れた地域で家族と共に生活できる様援助できればと思っております。

私達、スタッフが大切にしている、利用者様へご家族との良い信頼関係を得、聴く耳を持ち、相手の立ち場になり、ゆつくり、ゆつくり、あせらずという気持ちを忘れず温もりのある看護ができればと思っております。これから色々な良い情報、意見を取り入れ頑張っておりますので、今後ともよろしくお願いたします。



「地区活動について」

岡山県訪問看護ステーション連絡協議会
 副会長 菅崎仁美

昨年の研修会で訪問看護ステーションは、人員不足や制度改正、常勤換算2.5人という小規模ステーションの現状など様々な問題を抱えており、ステーション間の情報交換や協力体制の必要性があげられました。

そこで今年度より、協議会の活動として顔の見える範囲でのつながりを考え、県内を8ブロックに区分けした地区活動を行うことになりました。

地区活動は、各地区の理事を中心とした会員の自主的な運営としました。内容は、懇親会・研修会・事例報告会など訪問看護ステーションの質向上に関するものです。活動費は、ステーションの数に合わせ研修費より充てられます。

先日、7月14日の研修会後の時間を利用し、岡山市C地区が第1回目の情報交換会を開きました。今年度は、懇親会と情報交換を行うことにしました。「介護サービス情報の公表」「実地指導」について、それぞれの失敗談や対策等の意見交換をしました。また、台風や地震など自然災害時の対応についても意見が出されました。話の中から、「介護サービス情報の公表」に向けての研修の提案があったり、産休や頻回訪問など、スタッフ不足時のステーション間での協力についても話し合うことができました。日頃の悩みや不安などが多くありましたが、日々の不平不満の中からも問題が明らかになったり対応策が出てきました。こうした1人1人の声から、与えられる研修や情報ではなく、自分達に必要な研修や活動が見いだされると感じました。まずは、管理者が少しでも元気になれることから始めていきたいと思っております。

それぞれの地区活動から、特色のあるものがみられることを楽しみにしたいと思います。



ステーションからの リレーだより



「最期のとき」

仁徳会訪問看護ステーションのぞみ 薬師寺三佳

当ステーションは今年の夏で9年目を迎えます。現在スタッフ4名(内1名は社会福祉士)、毎日脱水予防のお茶持参で頑張っています。

訪問看護が開始・終了される理由は多種多様ですが、最近の当ステーションの傾向として病状悪化での入院、その後施設入所となるケースが増えた様に思います。(これは老老介護での介護疲れが大きいと思われまます。)この様な傾向の中、ある家族との出会いが心に残っています。褥瘡治療で利用開始となったのですが、「どこにも行きたくない」との本人希望に沿い、お嫁さんを中心にひ孫もかかわる家族全員での介護となりました。高齢でもあった為、徐々に食欲低下が見られてターミナル状態となり、家族に見守られながら亡くなられました。この時、最後にお孫さんより「あなた達と出会えて祖母を家で看取れる事が出来良かったです。」と感謝の言葉を頂き、とても嬉しかったです。この言葉を忘れない様、これからも笑顔・やさしさ・思いやり・チームワークを大切に訪問看護を続けていきたいと思います。



「私と訪問看護」

わかくさ訪問看護ステーション 中野 歩

私が在宅看護に関わりだして10年近くなります。訪問看護ステーションの管理者を引き継いだからは2年半が経ちました。そんな私が初めて訪問させて頂いた方は、心筋梗塞後の廃用性筋力低下と関節拘縮の為ベッドの上で座る事も難しい方でした。今では訪問看護は「卒業」、デイケアに通い趣味の山野草の手入れを楽しんでいます。現在のAさんの回復した様子を見ると在宅の癒しの力、家族の愛情や絆、元気になってこれをすると言う意欲が大切だと実感しました。そしてその回復の過程に関わることが出来たことを嬉しく思っています。

最近ターミナルケア、医療依存度の高い方のケアが訪問看護においては注目され、私達のステーションでもこの傾向にあります。しかしAさんの様に「訪問看護は卒業」といったケースに関われるよう願っています。

これからも私達訪問看護師を待っていてくれる方々の為に、日々の訪問を頑張っていきたいと思います。

「全国訪問看護事業協会総会・都道府県連絡協議会」に出席して

訪問看護ステーションくじば 仕田原明珠
みつ訪問看護ステーション看護協会 江田 純子

平成19年6月21日、全社連研修センター(東京)において、標記会議が開催されました。総会の冒頭のご挨拶では、「訪問看護サービスの伸びが停滞しているので経営基盤の安定化を図るため、①薬局に利用者宅へ衛生材料を届けてもらう、②有料老人ホームへの訪問看護、③高齢者用住宅への訪問看護など3つの具体案などが紹介されました。また、平成20年4月より後期高齢者医療制度創設に伴う訪問看護の充実の必要性にも触れられました。議事については事業報告・決算報告・役員辞任及び選任等すべて了承されました。

総会に引き続いて、平成17年度に行われた「専門特化型訪問看護ステーションのサービス提供体制に関する調査研究事業」と「地域特性に応じた訪問看護ステーションの機能・役割に関する検討 研究事業」が報告されました。認知症ケア・緩和ケア・難病ケアなど専門性のある訪問看護ステーションが備えるべきサービスの質の評価

基準の活用により、訪問看護の質の確保・向上及び利用者・家族・関係機関における適切な訪問看護サービスの選択と利用促進が期待されます。また、人口の少ない地域におけるステーションの役割・機能、運営上の困難や工夫・支援体制などの現状と課題が検討され、地域の特性を踏まえた運営の工夫や地域内の連携など示唆されました。

都道府県連絡協議会では、訪問看護推進事業の取り組み状況や平成18年度診療報酬・介護報酬改定後の療養通所介護事業・在宅療養支援診療所・ターミナルケア・施設との連携・介護予防訪問看護・20分間訪問看護などの動向について各県の現状と課題をテーマに情報交換を行いました。岡山県からは平成18年度「訪問看護推進協議会」を設置し在宅ホスピスケアに関する研修を行ったことや療養通所介護事業が始められたことなどを報告しました。

「広報委員を経験して」

2年前、広報委員を担当する事になった時「仕方がないなあ」「何もわからないのになあ」「何回も委員会に出席するのは負担だなあ」など否定的な受け止め、10周年記念誌の発行も重なり「何という時に当たったんだろう」と、とても消極的に出席しました。自己紹介があり、すぐに役割を決めましたが、何年も続けて委員をしてくださっている方や、役も早く引き受けてくださる方などがおられ感心しました。会議や作業を繰り返していくうち、若林会長や委員の方々と会って意見や情報交換が出来ることが楽しみにになりました。委員会の役割以上のものが得られたのです。イベントにも参加し、訪問看護を世間の多くの皆様に知って貰いたいと思いました。特にマッチングプラザ2007への参加はケアマネジャーや学生、一般の方などの関心もひき有意義であったし、自分自身も他の参加者と交流を持つ事が出来、楽しめました。

もちろん、当ステーションは小さくてスタッフもギリギリの状態での運営している為、出席するための時間を工面する事は大変でしたが、スタッフの協力があり無事任期を終える事が出来ました。未だ委員を経験されてない方、これからされる方、あまり負担に思わずやってみてください。必ず得るものがあります。今まで連絡協議会でお世話になった分少しでも皆様のお役に立てたなら幸いです。そして、自分も成長できた事に感謝いたします。

訪問看護ステーションほほえみ 中田一美

編集後記

今年もおかやま看護展が9月22(土)・9月23(日)に開催されます。アムスメール岡山(表町商店街)にて10:00~16:30の予定です。当協議会も参加してPRを行いたいと思っていますので、又足を運んでみてください。

広報委員一同

「事務局より」

- おかげ様で3月23日に事務局が下記住所に移転できました。お近くにお越しの際は、是非お立ち寄り下さい。

〒703-8251 岡山市竹田155-7
岡山訪問看護ステーション看護協会2階
TEL(086)901-1375 FAX(086)901-1376

- 新潟中越沖地震で被災された訪問看護ステーションへ、当協議会から、10,000円の義援金を送らせていただきました。(日本訪問看護振興財団をとおり、新潟県訪問看護ステーション連絡協議会へ)

訃報

前会長ならびに顧問でいらっしゃいました高田都氏が去8月20日(月)11時50分に逝去されましたのでお知らせいたします。協議会から弔電と香典をさせていただきました。

